

令和7年10月吉日

関係者各位

函館市医療・介護連携推進協議会
連携ルール作業部会退院支援分科会
分科会長 福島 久美子

「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、函館市医療・介護連携推進協議会 連携ルール作業部会 退院支援分科会および函館市医療・介護連携支援センターでは、入退院支援の連携における適切な情報共有の在り方を考え、ディスカッションすることで相互理解の促進と顔の見える関係づくりができる機会として例年同様、下記の内容で研修会を開催いたします。今年度からは、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターも共催となっております。

ぜひお誘い合わせの上ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

「令和7年度 入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」

【日 時】 令和7年11月14日（金）18：30～20：00

【場 所】 函館医療センター 新棟大会議室（住所：函館市川原町18番16号）

【対 象】 函館市・北斗市・七飯町

医療関係（MSW、入退院支援看護師、病院看護師、リハビリスタッフなど）

在宅関係（包括職員、居宅ケアマネジャー、訪問看護師、リハビリスタッフなど）

施設関係（施設相談員、施設ケアマネジャー、施設看護師、リハビリスタッフ、介護職員など）

薬剤師、歯科衛生士、栄養士等

*入退院支援に関心のある方は、どなたでも参加可能です。

【定 員】 60名ほど

【内 容】

テーマ：ズレてない？その人のイメージ

～視点のズレに気づいて、すり合わせるケア連携へ～

① 発表

ズレとは何か？

～入院から退院までの間の医療、介護間のイメージのズレについて～

発表者：北海道MSW協会南支部 医療相談員 岩城 朋美 様

② グループワーク

発表を受けて、普段の日常業務でのイメージのズレはなぜ起こるのか？ズレる事での困り事を話し合い、今後に向けてグループ内でディスカッションをします。

【申し込み方法】

別紙をご確認の上、お申し込みください。*締め切り：令和7年11月5日（水）

【問い合わせ先】

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院内） 担当：近藤

電話：43-3939 FAX：43-1199 E-mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

『入退院支援連携強化研修会（ガイド編）』

ズれてない？その人のイメージ
～視点のズレに気づいて、すり合わせるケア連携へ～

日時：令和7年11月14日（金）18：30～20：00

場所：函館医療センター 新棟大会議室
（住所：函館市川原町18番16号）

参加対象：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者

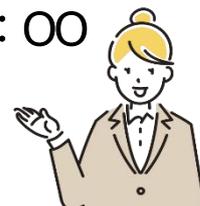
医療関係（MSW、入退院支援看護師、病院看護師、リハビリスタッフなど）

在宅関係（包括職員、居宅ケアマネジャー、訪問看護師、リハビリスタッフなど）

施設関係（施設相談員、施設ケアマネジャー、施設看護師、リハビリスタッフ、
介護職員など）

薬剤師、歯科衛生士、栄養士等

*入退院支援に関心のある方は、どなたでも参加可能です。



【申し込み】

函館市医療・介護連携支援センターのホームページを開き、研修情報「令和7年度入退院連支援携強化研修会（ガイド編）」のページにある Google フォーム もしくは右記の 二次元コード にてお申込みください。

*各職種がバランス良くご参加いただけるように、職種ごとの参加人数調整をさせていただきます。定員に達した場合は、締め切りを早める場合もございます。ご了承くださいませようお願い申し上げます。

申し込み Google フォーム⇒ <https://x.gd/Mpzm9>



締め切り：令和7年11月5日（水）

*参加される方には、事前に資料などをメールにて配信する予定です。研修2日前までに資料がきていない等がありましたら、下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

あれ？聞いたのと違う？

話したつもりだけど、
伝わってなかった？

一部介助って、どんな介助
がいるの？



その人のイメージ、思っていたのと違う！？

そのイメージのズレは何か？

皆で、ざっくばらんに話し合いましょう！

【問い合わせ先】

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院内） 担当：近藤

電話：43-3939 FAX：43-1199